

(様式2(1))

事業所名 まんてん堂グループホームひょうご須佐野

目標達成計画

作成日: 平成 27年 11月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	2	地域で共に暮らす住民として地域活動や住民との関わりをもつことが大切であり、自治会行事への参加や保育園、小学校との交流が必要である。	自治会行事・保育園・小学校との交流の機会を実現する。	保育所・保育園への挨拶にいき、交流の機会を持つ。(地域の保育園と12月クリスマスの交流、1月に新年会の交流が実現) 来年には、トライやるウィークの受け入れを検討していく。	3ヶ月
2	33	目標にあげた”第2の家族”としての看取りに望む職員が苦悩したり、動揺する場面に備えて、デスエデュケーションの検討が必要なのではないか。	職員の中には、経験のない職員も多い。早急に対応できることを検討し、状況に応じた対応ができるように職員の心のケアを重点に実施する。	職員の心のケアを毎月の管理者との面談の中で行う。まんてんセミナー(法人内研修)にて、12/20に”終末期のケアの基本”研修が実施される。職員の代表者が参加し、他の職員と共有することになっている。	3ヶ月
3	1	事業所の目標と合言葉をサービスの現場で実現するために、ケアの場面ごとに職員間で共有すべき具体的な方法を協議し、文章化・共有化する取り組みをどうするか。	”笑顔”をより具体的に、入居者の励みになるように職員で検討し、実践する。	フロアミーティングで検討し、12月から”笑顔マップ”を作成し2F・3Fのそれぞれのフロアに掲示して入居者様本人が毎日楽しみを持ちながら実施する。	1ヶ月
4	35	昼夜問わず入居者が遅滞なく避難できるよう、避難経路や避難場所などを日頃の散歩を通して身近になるようにしておく必要がある。	日頃から、地域との連携を図れるよう体制作りをしていく。	自治会の消防訓練に参加する。 施設の近隣の工場や住宅の方々とのコミュニケーションを図れるよう挨拶に行く。 地域のあんしんすこやかセンターとの連携をより図り情報を得る。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。